

WAF P 関東 FP 活動応援制度イベント報告

24 年 8 月 25 日

開催日時	2012 年 7 月 24 日 (火) 12:30~15:30
申込者氏名	竹谷 希美子
イベント名	6 次産業化ワークショップで食育と金融をまなぼう！「夏休み！アグリ・ゲーム～ニッポンを救う アグリレンジャー」
当日の状況	<p>参加者数：... 応募申込者 16 名 (8 組) + 当スタッフ 2 名 + 主催者 1 名 メディア記者 2 名 イベントサポーターの利用の有無：無</p> <p>当日お手伝いしたイベントサポーター数：... 0 名 WAF P 通信にて公募したお手伝い数 3 名 + 弊社アシスタント 2 名</p>
イベント報告	<p>報告（感想等をお書きください）：... 何年ぶりかの主催ワークショップでした。最初から最後まで集客作業ばかりをしていた。企業の CSR などの活動が浸透し、無料イベントは多くあり、競合するには大手企業とのコラボか、国の助成事業としての開催でないと厳しいと感じた。</p> <p>この理由から、参加頂いた方々は食や金融に意識が高いという判断をした。この取り組みからメディア（*）に取り上げられ、今後の活動の一助になるとともに、フード・アクション・ニッポンが開催する「フード・アクション・ニッポンアワード 2012」に応募した。 http://syokuryo.jp/award/</p> <p>フード・アクション・ニッポンへは、早くから後援を取得できるように準備した。ここの後援を取得できたのはワークショップの信頼度に大きく寄与した。</p> <p>FP の活動分野を広げるための事業として大学や各地域などで開催を今後も継続したい。（*）メディアは日本農業新聞、東都よみうりから取材受け、後日、新聞誌面に掲載された。</p> <p>実施にあたって工夫したところ：... 食育と金融を結びつけるところに苦労があった。その工夫は、食育には現在と将来の農業・食料問題について学習し、いかに自家作物を付加価値をつけて売っていくかを考えさせた。金融は、その売るための単価計算や資金繰りについて盛り込んだ。小学生の参加が多かったので、資金の借入れまでにとどめ、直接金融については PPT 学習で触れる程度にした。「相談所」としてお金の相談に親身になってアドバイスするファイナンシャル・プランナーを前面に出して活躍させた。</p> <p>反省点があればお書きください：... アンケートの作成を忘れた。したがって、各チームに作品を返却する際に、同封するという手段しかできなかった。</p>

アンケート報告	<p>アンケート回答者数：4（組）名。</p> <p>満足度について：この項目は設けていませんでした。 たいへん満足.....名 まあまあ満足.....名 普通.....名 やや不満足.....名 不満足.....名</p> <p>イベント参加者の感想（要点のみを箇条書きにお書きください）：</p> <p>.....</p> <ul style="list-style-type: none">・もっと若い人たちに農業に関わってほしいと思った。子どもは「農業をやる若い人はとても少ないんだね」と言っていた。・モノづくりから商品を売り、自分の利益になるということが理解できた。・世界人口増による食料難に危機感を感じる。このような問題について子どもと話をできる機会になった。・国産のものを買う。・値段が高くても農家のために買い物をしたい。地産地消を意識したい。・金融に関するワークショップは少ないので広く開催してほしい。ゲームを通じて学べたと思う。・食料自給率を向上し、若い人の農業参加が必要と子どもが話した。・金融は、生きる力の一つだと思う。今から身につけたい。・チャンスカードに子どもが泣いてしまうかもという心配があった。・経営感覚を養う機会になった。 <p>.....</p>
---------	--